

平成27年度香川大学大学院修了式 学長告辞

本日、ここに多くの関係者の出席のもとに平成27年度香川大学大学院の修了式が行われることは、我われにとって大きな喜びであります。

本日、香川大学大学院から学位を授与された297名の皆さん、誠におめでとうございます。また、皆さんをこれまで支えてこられたご家族や関係者の皆様方にも、心からお慶びを申し上げます。

新たに学位を授与された方は、博士の学位が26名、修士の学位が235名、専門職学位が36名です。皆さんの日々の学修と研究生活を支えてこられた指導教員、関係の皆さんにも心から敬意を表します。

皆さんは、今日のこの日を迎えるまで、自らの学修や研究に日々研鑽を続けてこられたことと思います。時には苦しく、つらい日もあったかもしれませんが、しかし、今、皆さんのすがすがしい顔を拝見すると、いかにも自信に満ちあふれており、充実した大学院生活を送ってこられたのだと、確信しているところです。

修了生のなかには海外からの留学生24名が含まれています。留学生にとっては、日本の文化や習慣への適応という課題を乗り越えての成果であり、その努力を称え祝意を表したいと思います。

皆さんのうち多くの方が、4月から新たに社会人としての一步を踏み出します。新たな環境で多くの困難な出来事、初めて体験する出来事に直面することでしょう。

しかし、皆さんなら、どんな困難も乗り越えて行くこと

ができるはずです。なぜなら、皆さんには、この大学院で、学修と研究に時には寝食も忘れて打ち込み、困難な出来事や、数々の失敗を乗り越えて、ひとつの真理を発見し、それを学位論文や研究課題に取り纏めたというかけがえのない経験があるからです。今は実感が無いかも知れませんが、論文をまとめる過程で得られた探究力、解析力、表現力などは確実に血となり肉となり皆さんの力になっています。これらの力は、研究者に限らず、社会のどの場面、どの分野においても必要とされるものです。

さて、「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」という予測があります。これは、米デューク大学の研究者であるキャシー・デビッドソン氏が2011年8月にニューヨークタイムズ紙のインタビューで語ったものです。現代がいかに先行き不透明で予測困難な時代であり、絶え間ない技術革新やイノベーションにより企業や職業に関する概念が変化し続けているかを象徴的に表した予測であります。

この困難な時代を生き抜くために必要なものは、常に時代の一步先を読む姿勢、新しいことにチャレンジし続ける姿勢、常に学び続ける姿勢であると思います。これらの基礎的な素養は、皆さんの大学院生活で既に身に付いていると思いますが、今後も日々更なる努力を重ねて、時代を先取りし、イノベーションをおこす力を身に付けていただきたい。

アメリカの経営者であり、新しい時代を切り開いたイノベーターである、スティーブ・ジョブズ氏はこのように言っています。「進み続けよ、決して安住してしまっ

けない。」そして、「他人の意見で自分の本当の心の声を消してはならない。自分の直感を信じる勇気を持ちなさい。」

本日、香川大学大学院において学位を授与された皆さんが、夢と希望と大きな自信を持って、このグローバルな21世紀の社会で活躍されることを心から期待し、私からのお祝いの言葉といたします。

平成28年3月24日

香川大学長 長尾 省吾